

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373000989
事業所名	介護支援センターつばさ グループホーム事業部

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) コロナ禍の自粛は続き、積極的な交流を行なえない状況が続いている。戸外に出たり、散歩途中で行き会ったりの、日常の中での交流を継続している。今年度は、交流の再開を踏まえ、弾き語りのボランティアを招いて施設駐車場で戸外イベントを開催したところ、地域の方、利用者家族も参加する楽しみの交流会となった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) コロナ禍で、感染状況を見ながらその都度開催方法を考え、年6回の会議を開催している。この1年は、2回を書面開催、4回を対面開催で実施している。書面開催の場合は、資料配布⇒意見聴取⇒議事録作成⇒配布の手順で、ホームから一方通行の報告にならない仕組みを作っている。毎回多数の意見が寄せられ、内容には真摯に対応し、ホーム運営に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 市の担当部署とは、ホーム運営に係る相談・報告を通じて適切に連携している。また、定期的に介護相談員を受け入れ、ホームと利用者の様子を知らせ、アドバイスをいただく等の連携がある。 地域包括支援センターか運営推進会議に参加し、ホームの実情理解の下、地域情報の共有と高齢者介護に関わる協働を話し合っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 家族との関係は良好で、家族のホーム理解も深い。ホーム便りの他、随時の電話連絡、面会時の状況報告等でホームと利用者の情報提供に努め、意見表出がしやすい環境を作っている。コロナ禍の感染予防・対策についてもホームの方針に家族協力が得られ、特段の問題もなく対応できていることから、ホームと家族の良好な関係性がうかがい知れる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍の感染状況を見ながら、開催方法を決定している。この1年は、6回のうち2回を書面開催、4回を対面開催にしている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								